

2010 年度受託研究概要報告

有馬温泉観光総合案内所ホームページデザインに関する研究

研究メンバー

| | |
|------|----------------------|
| 相澤孝司 | デザイン学部プロダクトデザイン学科教授 |
| 曾和具之 | デザイン学部プロダクトデザイン学科准教授 |
| 林口哲也 | デザイン学部プロダクトデザイン学科助手 |

委託者

有馬温泉旅館協同組合

研究概要

本研究では、有馬温泉旅館協同組合（以下「組合」）のウェブサイトのリニューアルを行った。制作するウェブサイトにおいては、以下の4つの点を達成すべき点とした。

1. 組合加盟旅館のポータルサイトとしての役割
2. 組合加盟旅館のウェブサイトへの導入
3. 予約システムとの連携
4. 留学生による、各母国語での有馬温泉の情報発信

成果物は以下の2点である。

1. 組合ウェブサイト
 - ・XHTML+CSS、JavaScriptにて制作
 - ・<http://arima-spa.com/>
2. オリジナルコンテンツ
 - ・留学生が有馬温泉を体験し、それぞれの母国語で情報発信
 - ・テキスト及び動画、動画はYouTubeでも公開

研究成果

1. 組合加盟旅館のポータルサイトとしての役割

有馬温泉のポータルサイトとしては、「有馬温泉観光協会公式サイト」(<http://www.arima-onsen.com/>)があり、その中で、各旅館の紹介もされている。そこでの改善点を検討した結果、組合ポータルサイトでは、一つの画面内でスクロールせずに、26の加盟旅館を表示することとした。トップページには、まず最初に各旅館の「風呂」の画像を一覧で表示し、有馬温泉の金泉・銀泉を第一に訪問者に印象づけることを狙った。また、一覧画像は、他にも「客室」「料理」「外観」を切り替えて表示でき、一覧写真から旅館を選ぶインタフェースとした。

2. 組合加盟旅館のウェブサイトへの導入

3. 予約システムとの連携

一覧写真をクリックすると、詳細情報がポップアップ画面で開く。タブで切り替えることにより、縦方向のスクロールを抑えた。また、タブの中に「料金・宿泊プラン」「旅館ウェブサイト」の項目を設定し、各ページ（外部サイト）へリンクすることにより、各旅館ウェブサイト及び予約システムへの連携を図った。トップページには宿泊日及び人数による宿泊検索ボックスを設置した。

4. 留学生による、母国語での有馬温泉の紹介

本学曾和准教授と留学生が中心となって、留学生が有馬温泉を体験し、母国語でレポートにまとめて海外へ情報発信を行うコンテンツを製作した。コンテンツは、日本語及び各留学生の母国語で製作した。また体験の内容を動画にまとめ、YouTubeでも公開した。



写真1 総合ウェブサイト